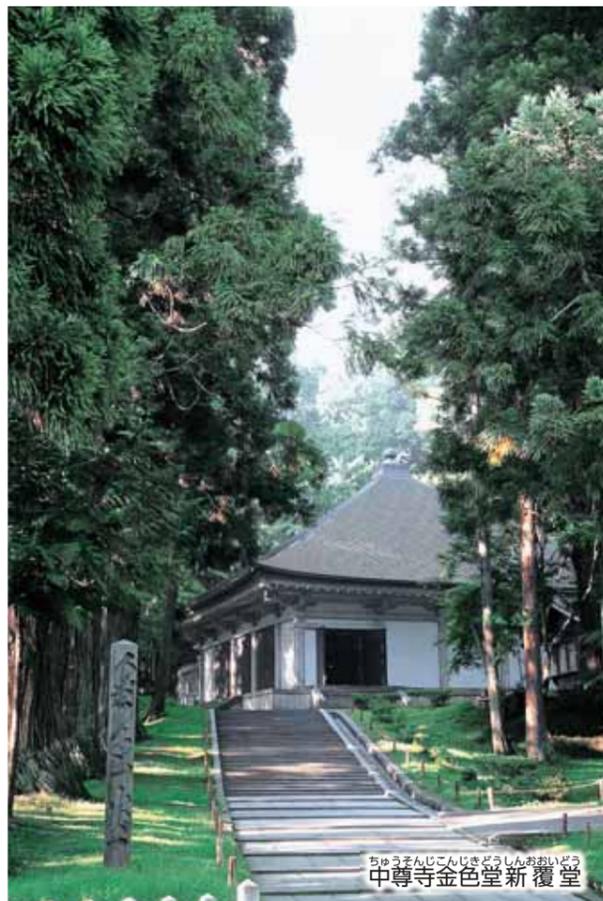


日本遺産  
認定記念

平泉寺世界遺産講演会2019

# 奥州平泉と白山平泉寺



中尊寺金色堂新覆堂

世界文化遺産に登録され、日本遺産の認定もつけた奥州「平泉」。

奥州平泉と白山平泉寺のつながりを探り、世界遺産登録への道のりや文化遺産を活かしたまちづくりについて学びます。

とき▼11月10日(日)

午後1時30分～3時30分

ところ▼教育会館ホール

(聴講無料・申込不要)

内容▼

・講演「奥州平泉の世界遺産登録とその取り組み」

講師 八重樫忠郎氏(岩手県平泉町役場まちづくり推進課長)

・トーク

出演 八重樫忠郎氏、高橋教雄氏(岐阜県郡上市文化財保護審議会委員)、河村健史氏(福井県立歴史博物館学芸員)

囲生生涯学習・スポーツ課(教育会館2階) ☎88・8113

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ジオパーク専門員 町 澄秋

勝山市の北郷町坂東島から荒土町堀名、野向町北野津又にかけて(主に鷲ヶ岳、水無山、高尾岳の山腹(山麓)、結晶質石灰岩と呼ばれる岩石が産出します。石灰岩は、炭酸カルシウム(CaCO<sub>3</sub>)を主成分とする岩石で、かつては勝山でも荒土町周辺を中心に採掘されていました。では、何の目的で、どのように、利用されていたのでしょうか?)

## —第41回— 石灰岩の科学

された石灰岩を窯で焼いて生石灰(酸化カルシウム(CaO))を作っていました。この生石灰は水と非常によく反応し、強アルカリ性の水酸化カルシウム水溶液(Ca(OH)<sub>2</sub>)となり、酸性の土壌を中和してくれるのです。

石灰岩の大部分は、炭酸カルシウムの骨格や殻をもつ生物(例えば、サンゴや貝類、有孔虫など)の遺骸が長い時間をかけて積み重なって形成されます。

この大地の贈り物が私たちの生活を助けてくれていました。化学肥料が台頭して、現在勝山では、石灰岩が採掘されることはなくなりましたが、荒土町などでは、かつて生石灰を作っていた石灰窯の遺構などが残っています。

勝山ジオパークまちづくり課(市役所2階) ☎88・8126



昭和8年頃に使われていた石灰窯



日本遺産認定記念

# 勝山城下町と七里壁を歩く

とき▶10月26日(土) 午前9時30分～11時30分

集合▶教育会館第1会議室(要申込)

現在、県教育庁埋蔵文化財調査センターが、河川の改修に先立って勝山城跡とその城下に広がる袋田遺跡の発掘調査を実施しています。

袋田遺跡では、古墳時代から江戸時代の遺構が広がっていることが、周辺の調査から確認されており、1,500年以上前に市街地には、すでに人々が生活し始めていたことが明らかになってきました。

今しか見られない貴重な遺構

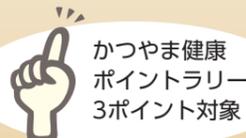
勝山城跡は、柴田氏や小笠原氏をはじめ代々の城主によって築かれ、現存する絵図などにより、お

およその街の景観や建物の様子を知ることができます。

絵図から江戸時代のお寺などがあったと想定される袋田遺跡の一部を実際に見学できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

内容▶市学芸員による講演と展示解説、市内散策と現地見学会

申・問勝山公民館(教育会館1階) ☎88・0800



かつやま健康ポイントラリー3ポイント対象



袋田遺跡発掘調査の作業



勝山城下町の痕跡【全景】



石組井戸の全景

11月5日(火)からスタート

## ①住民票などに旧姓(旧氏)が併記できます!

仕事で旧姓を使いたい時の本人確認や旧姓のまま各種契約や銀行口座を使いたい場面、その証明に使えます。

※併記できる旧姓は1つだけです

併記されるもの▶住民票、印鑑登録証明書、マイナンバーカード、通知カード、公的個人認証の署名用電子証明書

方法▶旧姓併記の届出を市役所に提出  
持ち物▶旧姓が記載された戸籍謄本など、マイナンバーカード(通知カード)、本人確認書類(運転免許証など)

## ②印鑑登録証明書の性別欄が廃止

性別に関わりなく自分らしく生きられる社会を目指し、印鑑証明書の性別記載を廃止します。

### 市役所で簡単!マイナンバーカード申請

市役所(市民G窓口)で、カード申請に必要な写真を撮影し、申請のお手伝いをします。また、申請時に通知カードと本人確認書類(運転免許証など)があれば、カードを自宅へ郵送することもできます。ぜひご利用ください。

問市民・環境・税務課(市役所1階) ☎88・8102



※すでにマイナンバーをお持ちの方は追記欄に旧姓が記載されます